



「看護の日」に 看護職員による 催しを開催しました

看護部 部長 かんだ まりこ
神田 真理子

毎年、5月12日は、「看護の日」です。これは、国民の間に看護の心、助け合いの心が育つようにと制定されたものです。この日にちなみ、看護師の仕事に触れて思いやりの気持ちを深めてもらおうと、当院看護部主催で、5月12日（木）に病院外来1階待合ホールを使って、昼の部・夜の部の2部構成で催しを開催しました。

昼の部は、来院された患者さんや家族の方に「認定看護師によるハンドマッサージ」を行いました。アロマの香りとともに、認定看護師の丁寧なハンドマッサージにより多くの患者さんや家族の方が癒されました。井川幹夫病院長も患者さんと一緒にハンドマッサージを受けながら談笑する場面もありました。

夜の部は、入院患者さんやご家族の方に向けて、「看護職員による小さな音楽会」を開催しました。ハンドベルやフルートの楽器演奏、看護師によるピアノ演奏による男性合唱団の歌声、女性合唱団の澄んだ歌声の披露とともに、最後に、「花が咲く」の歌を、観客と一緒に合唱し、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。待合ホールには、患者さんや病院職員が100人以上集まり、盛大な音楽会となりました。



島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

7月15日～8月14日

対象者： 一般 一般市民 医療 医療関係者 本学 本学教職員・学生

開催日	時間	開催名	場所(★印 学外開催)	対象者
7/15(金)	9:30～11:30	平成28年度 島根県がんビ アサホ -ター相談会	外来・中央診療棟3階カアレスルームだんだん	一般
7/15(金)	19:15～20:30	SUMMER SEMINAR IZUMO 「Whole body DWIとSynthetic MRIについて」	★ニューウェルシティ出雲 2F「牡丹」	医療 本学
7/16(土)	13:30～15:00	島根大学公開講座 「健康長寿秘訣を探る-実践編-地域健康調査でわかったこと」 第3回「下肢静脈瘤の原因と予防-静脈瘤のエコー検査-」	医学部臨床講義棟 1階 小講義室	一般
7/16(土)	14:00～16:00	科学移動教室 紙芝居から食物アレルギーを考える	★出雲科学館(多目的室3)	一般
7/21(木)	18:30～19:30	患者さんと家族のためのセミナー 「緩和ケアとは?～島根大学病院の活動をご紹介します～」	外来・中央診療棟3階カアレスルームだんだん	一般
7/24(日)	14:00～16:00	第2回 島根県こどものアレルギーセミナー	★いきいきプラザ島根(松江)	学校保健関係者、 患者・患者家族
7/25(月)	15:00～16:00	第2回 誰でも参加できる糖尿病教室 ①「知っておきたい!食物繊維のチカラ」 ②「眼科専門医による糖尿病網膜症のおはなし」	外来・中央診療棟3階カアレスルームだんだん	一般

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



Shimane University Hospital
島大病院ニュース

2016年
7月
Vol.33

NEWS



CONTENTS

- ・子どもたちが幸せに暮らせる島根県を目指して
- ・DBSについての実績報告
- ・「看護の日」に看護職員による催しを開催しました
- ・島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報



子どもたちが幸せに暮らせる島根県を目指して

小児科 教授 たけたに たけし
竹谷 健

この度、6月1日付で当院小児科科長に就任させて頂きました、竹谷健と申します。常日頃、大学病院小児科に多くのご支援を頂き、誠にありがとうございます。

島根県は超少子高齢化が日本でいち早く進んでおり、今後も人口動態の変化が進んでいくと思われます。また、診断技術および新規治療法は発展し続けていますが、医療倫理および医療コストの対策が十分に進んでいない現状があり、近い将来、医療用ロボットや人工知能が実際の診療に導入される可能性が高いことから、医療をとりまく状況は大きな変革を受けていると思います。

この変革の時代に、島根県の子どもたちが幸せに暮らせるように、以下の点を中心に誠心誠意取り組んでいく所存です。

1. 大学病院の小児科医療

- ① 幅広い小児領域への質の高い医療の提供
新生児、神経、循環器、消化器、呼吸器、感染・アレルギー、腎臓、膠原病、腫瘍・血液、内分泌代謝疾患の全ての分野において、外科系診療科とも連携して、世界標準の医療を提供します。
- ② 思春期医療および成人への移行医療の充実

2. 島根県の小児科診療・小児保健

- ① シームレスな医療・小児保健の提供
地域で小児科診療に携わっておられる先生方だけでなく、行政、教育機関などの子どもに関わる全ての職種の方と協力して、子どもに関わる問題を把握して、迅速かつ適切な医療・保健事業を提供します。
- ② 周産期医療の充実
婦人科の先生方との連携を強化して、島根県全体の周産期医療の発展に努力します。
- ③ 少子化時代に適した小児医療体制の構築

島根大学医学部附属病院小児科スタッフはこの目標に向かってこれからもなお一層努力して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

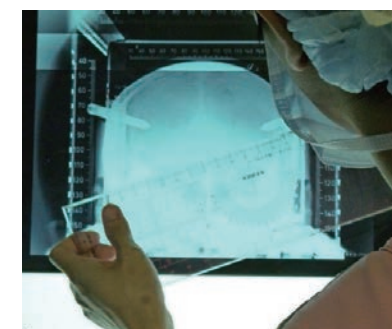
問合せ先 小児科(医局) TEL 0853-20-2219

島根県では初めての手術である 脳深部刺激療法(DBS)を行いました

脳神経外科 准教授 ながい ひでまさ
永井 秀政

先月32号でもお知らせしましたが、不随意運動症に対してDBSの適応があります。代表疾患としてパーキンソン病(中等度)、書痙などのジストニア、そして本態性振戦があります。いずれも薬物療法が難しく、かつ手術治療に耐えうる場合が適応となります。

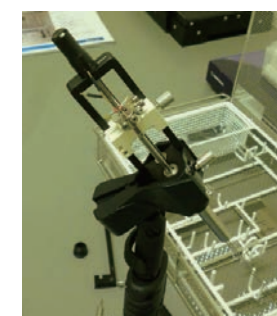
本態性振戦を主訴とする中年男性に対してDBSを行いました。右手の振戦をコントロールするために、左視床内側(Vim)核に電極を留置しました。電極留置には時間を要しましたが、合併症もなく正確に電極を留置できました。刺激発生装置を前胸部に留置して手術を終了しました。現在、刺激頻度や刺激電力を調整しており、右手の振戦は改善しています。



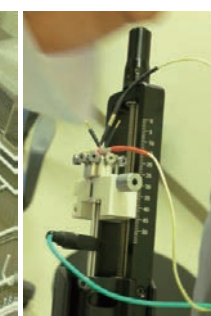
■ 中心点の計測



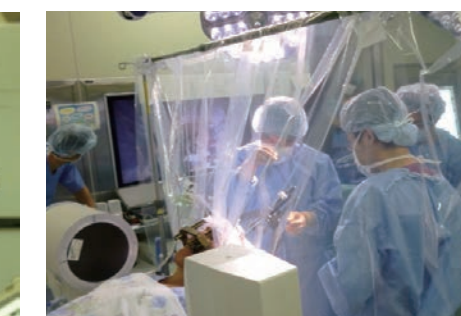
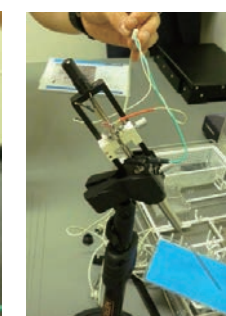
■ フレームリンクでのプランニング



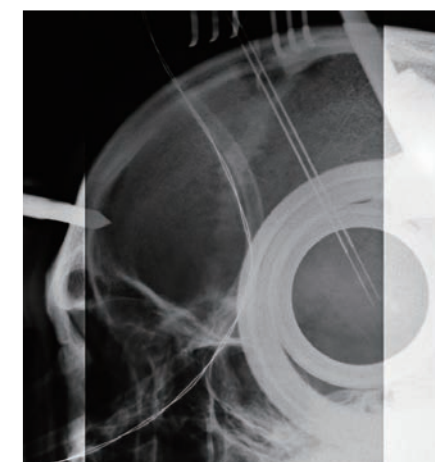
■ マイクロドライブ



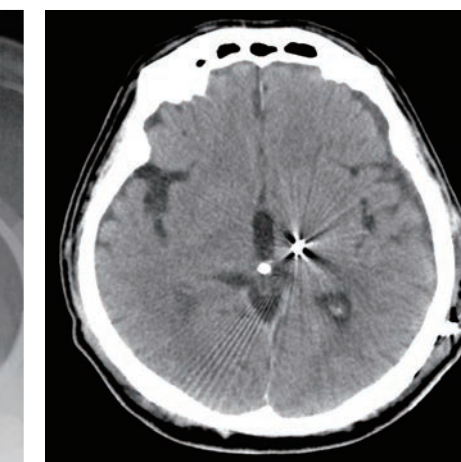
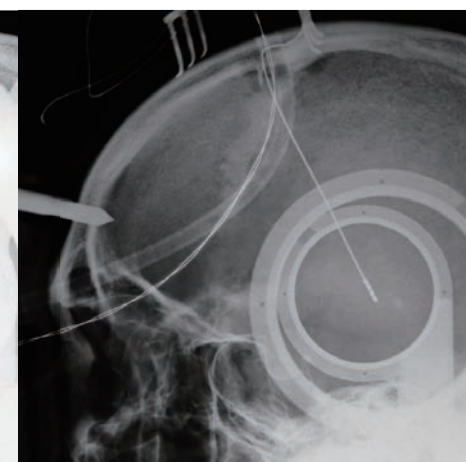
■ 微小電極針とモニター



■ 手術室の様子



■ レントゲンでの電極留置



■ 術後の頭部CT

問合せ先 脳神経外科(医局) TEL 0853-20-2245



島大病院ニュース
2016年7月

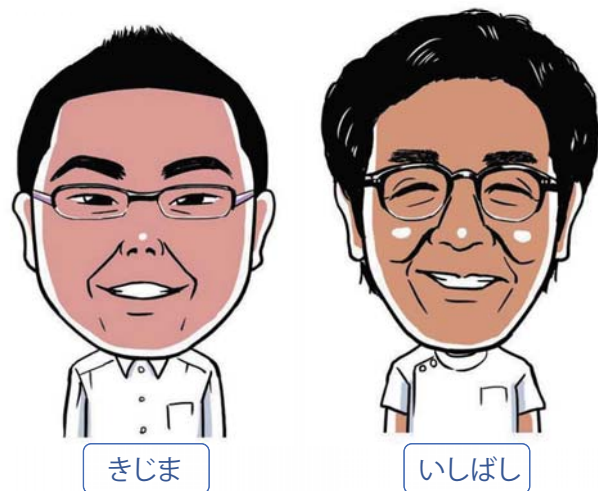
お知らせ

総合診療科外来を開設しています

総合診療科 診療科長 いしばし ゆたか
石橋 豊

島根大学総合診療科では平成28年4月から火曜日を除く毎日総合診療科外来を開設しております。

つぎのような患者さんを対象に診療を行い、総合診療科での継続診療または各専門診療科への紹介を行っています。



きじま

いしばし

- 1) 不明熱
- 2) 原因不明の体重減少
- 3) 健康診断で異常指摘
- 4) 循環器内科か呼吸器内科の判断が難しい呼吸困難、胸痛
- 5) 臓器特定が難しい頭痛、腹痛、めまい、浮腫、四肢冷感・しびれ
- 6) 何となく体調不良、体がだるいなど、診療科が特定できない症状

医療機関の先生方におかれましては、臓器別診療科に特定し難い症状の場合、紹介受診科を判断しかねる場合など、お困りの時には遠慮なく総合診療科外来宛に御紹介ください。



問合せ先 総合診療科 外来TEL 0853-20-2381

お知らせ
島大病院ニュース

平成28年7月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース
2016年7月

ご報告



平成28年度防災訓練を実施しました

当院では消防法に基づき、年1回の防災訓練が義務付けられています。昨年度は起震車による地震体験学習を行い、また毎年地震を想定した実地訓練を行っています。今年は4月に熊本地震があり、本学からもDMAT隊が3期にわたり派遣され、にわかに震災に対する関心が高まってきたのを機に、医師、看護師をはじめ本学で仕事をする職員、外注職員すべての従事者に対して、防災意識を高めてもらうため、出雲市消防本部予防課から講師をお招きし、【災害が発生したらあなたはどうしますか】という演題で研修会を開催しました。

研修内容

1. 東日本震災時の石巻赤十字病院でのトリアージの設置までの初動記録ビデオの視聴
2. 出雲市消防本部予防課長 木佐 氏による【大規模災害時の初動対応について】講演
3. 医学部附属病院の災害対策マニュアルの説明

大規模災害を経験したことのない医師、看護師、職員はいざと言う時に初動に時間がかかるのではないかと考え、この講習では、昨年度改定された【医学部附属病院災害対策マニュアル】の知識の習得と、石巻赤十字病院での東日本大震災初動の記録映像を視聴して頂き、総合病院での初動体制の訓練を行いました。外来・入院患者さんへの対応、また、震災による新たな患者さんの受け入れをどの様にしたら良いのか、それぞれの職員の立場で考えて頂けた訓練となったと思います。



お知らせ
島大病院ニュース

平成28年7月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース
2016年7月

ご報告

清掃ボランティアさんにお世話になりました

当院では、患者さんがより快適な気持ちで治療を受けていただけるよう、定期的に清掃ボランティアさんにお世話になり、環境整備を行っています。

今回は、去る5月21日(土)の出雲慶人会連合会のボランティア活動のご報告です。

当日は、好天の下、出雲慶人会連合会(会長：吉田孝司氏)総勢144名と大変多くの方々にお集まりいただき、また、病院長をはじめ職員も参加し、8時30分から9時40分の間、A・B病棟南側日本庭園周辺の草刈、清掃を行ないました。

出雲慶人会連合会は今年で6年連続、6回目の清掃活動となりますが、1時間後にはとてもきれいにできてきました。

ボランティアさんからは、「医大さんには、いつも世話になっとーけん。」とうれしい言葉を多くいただき、当院の地域貢献の成果の一つがこの言葉に繋がっていることを実感することができました。

慶人会連合会の皆さん、その他のボランティアの皆さん、いつも有難うございます。



お知らせ
島大病院ニュース

平成28年7月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療) 担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース
2016年7月

ご報告



地域枠入学6年生との交流会を行いました

たにぐち えいさく
地域医療支援学講座 教授 谷口 栄作

6月初めに、地域枠推薦、緊急医師確保枠、県内定着等の選抜枠で入学した6年生の意見交換会を行いました。この会には、井川院長もご出席いただき、大いに盛り上がりしました。最後の西医体を目指して部活に取り組んでいる学生、指導医のもとで学会発表や症例報告を行っている学生、とりあえず国試に向けて勉学に励む学生等。やりたいことや、しなければならないことをがんばっている学生達が集まりました。

また将来についても、それぞれの夢を持ち、島根県民、国民、人類のために役立ちたいとかたる、たくましくなった6年生の姿を見て少し感動しました。

井川院長からは、「若いうちは島根で基礎固めをしてほしい。大学はもちろん、オール島根でそれをしっかりサポートする。」との心強い言葉をいただきました。

医師国家試験までの期間は8か月になりました。6年生みんながそろって合格し、医師としての第一歩を踏み出し、島根の医療に貢献してほしいところです。

がんばれ6年生!!

若手医師の卒後研修をオール島根で“がっちり”サポート

初期臨床研修
(2年)

専門研修

18基本領域で
プログラムを申請中

生涯教育



しまね地域医療支援センター
島根大学
島根県、市町村、医療機関等



しまねで頑張る!
ドクター吉田くん

お知らせ
島大病院ニュース

平成28年7月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療) 担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース
2016年7月

ご報告



Paauw 教授と医学生交流

おにがた かずみち
卒後臨床研修センター センター長 鬼形 和道

本年もPaauw教授 (Washington大学, Seattle) が来学され、学生そして研修医と多くのセッションを持ちました。彼は2度の北米ベストティーチャー賞受賞歴のある総合診療医です。今回で5回目の来学となりますが、とにかくプレゼンが上手、そして教育法には目を見張ります。

臨床実習前の4年生は、「初心者向けの臨床推論」を企画しました。Paauw先生は彼らのプレゼンを評価、そして身体診察における所見の取り方を丁寧に教えてくれました。

6年生有志の企画も感染症のケースでしたが、「臨床実習を経験しているので推論の質もかなり高いですね。」とのPaauw先生のコメントに頷く彼らの姿が印象に残りました。

さらに、4年生に向けたリウマチ学の講義、5年生の臨床実習では症例検討を、そして1年生の医学英語にも同席いただきました。

こうしたセッションは、もちろん英語で展開されます。本学学生の深い前傾姿勢と高い英会話スキルに触れることができました。彼らの成長が本当に楽しみです。



Session with Dr. Paauw

About infectious diseases

- 日時：5月18日(水)
18:30-20:00
- 場所：みらい棟4F GALAXY
- 対象：医学生(1-6年)
- 内容：感染症症例の臨床推論、Snap diagnosis、Quizなど

主催：卒後臨床研修センター
お問い合わせ先：菅（医6） r.kan.shimane@gmail.com

お知らせ
島大病院ニュース

平成28年7月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

